



学校図書館だより

9月号

令和4年9月
柏市立柏中学校
柏市学校図書館指導員

2学期が始まりました。夏休みは充実した時間を過ごせましたか？これからは涼しくなり、何をするにも良い季節ですね。図書館には1学期にたくさんの新着本が入りました。気になった本、興味を持った本はありましたか？図書館はみなさんの「読みたい！」「知りたい！」を応援します。2学期もたくさん利用してください。



中秋の名月

暦（太陰太陽暦）の8月15日の月。旧暦の8月15日を中秋といい、現在の太陽暦では9月の末から10月のはじめごろにあたる。太陰暦では7月、8月、9月は秋とされ、7月は孟秋（孟は「はじめ」という意味）、8月は仲秋または中秋、9月は季秋（季は末という意味）とよんだ。古くから、この夜の月は名月とされ、月見がおこなわれたが、天文学的には、地球をはさんで、月と太陽が真反対に位置するときが同じ日になるとはかぎらないので、中秋の名月は、必ずしも満月にはならない。また、旬のサトイモをそなえたので、いも名月ともいわれる。

『中秋の名月(ちゅうしゅうのめいげつ)』総合百科事典ポプラディア (Sagasokka!) より、
(2022-08-26 閲覧)



今月のおすすめ本

テーマは『月』

『流浪の月』

凧良 ゆう 著 東京創元社 <913>

あなたと共にいることを、世界中の誰もが反対し、批判するはずだ。わたしを心配するからこそ、誰もがわたしの話に耳を傾けないだろう。それでも文、わたしはあなたのそばにいたい。再会すべきではなかったかもしれない男女がもう一度出会ったとき、運命は周囲の人を巻き込みながら疾走を始める。

『13カ月と13週と13日と満月の夜』

アレックス・シラー 著 金原瑞人 訳

求龍堂 <933>

奇想天外なのに、意外とリアル。ハラハラするけど、楽しくてワクワクするけど、スリリング。おしゃべりで勇敢な12歳の少女、赤毛でそばかすだらけのカーリーが活躍する、ちょっぴり怖いけど、きつと、ハッピーエンドの物語…。

『月のきほん』

白尾 元理 著 誠文堂新光社 <446>

毎日、満ち欠けをして形を変える月。見える位置や時刻も毎日違う。それはどうして？どんな仕組み？月はいつできたのか？どうして地球の周りを回るの？ウサギに見える表面の模様は何？月にはどんな名前が付いているの？そんな月にまつわる疑問について答えながら、月について、やさしく紹介。

『みかづき』

森絵都 著 集英社 <913>

昭和36年。小学校用務員の大島吾郎は、勉強を教えていた児童の母親、赤坂千明に誘われ、ともに学習塾を立ち上げる。女手ひとつで娘を育てる千明と結婚し、家族になった吾郎。ベビーブームと経済成長を背景に、塾も順調に成長してゆくが、予期せぬ波瀾がふたたびを襲い。山あり谷あり涙あり。昭和～平成の塾業界を舞台に、三世代にわたって奮闘を続ける家族の感動巨編！

『九時の月』

デボラ・エリス 作 もりうちすみこ 訳

さ・え・ら書房<933>

15歳のファリンは、イランの首都テヘランの名門女子校に通う裕福な家の一人娘。学校では孤立し、運転手付きの車で家と学校を往復するだけの鬱屈した毎日を送っている。だが、美しいサディーラが転校してきたことで、ファリンの日常は一変する。親友となった二人は、学校だけでなく休日も行動を共にするようになり、互いを想う気持ちを深めていく…LGBTとは、恋とは、愛とは。革命後のイランを舞台とした、愛し合う二人の少女たちの悲しい運命を描く実話をもとにした物語。

※ライブラリーサーチより一部引用しています